

ぼうさい通信 22号



テーマ「災害を防ぐ備え」

令和元年5月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

「備え」という言葉から何を連想しますか？

「防災用品」「防災グッズ」などと検索すると、そういう情報はすぐに得られます。熊本地震以降、そのようなリストを目にし、非常持ち出し袋を家の中に備えた人も多いことでしょう。みなさんがすでに知っている防災用品のリストに関することとは少し視点を変えて、「備え」について考えてみました。

まずは情報を得ることから

ふだんから、最新の防災情報に敏感になっておくことは大切です。

みなさんは「天気予報」は見ますか？自分が快適に安全に通学するための大事な情報です。明日は晴れるのか雨なのか。自転車で登校するか、バスにするか。傘は持っていくべきかどうか。夏服では肌寒いか、大丈夫か。自分で決めて家を出るために、天気予報に敏感になりましょう。天気予報に敏感になると、台風の接近や、大雨の予報などの情報もおのずと入ってきます。



↑ ↑ ↑
校内のどこかに、こんな「備え」もあるのです。

でも地震は、予報もなく突然起こった、という気もしますね。しかし。熊本にある断層のこと、専門家が予言していることなど、私たちが情報に鈍感で、心の準備ができていなかったという面もあるのだということを、熊本地震のあと筆者は知りました。情報に敏感になり、心の準備から始めましょう。まずは、明日の天気予報から。

有効な情報として……

*熊本県防災情報ホームページ <http://cyber.pref.kumamoto.jp/bousai/>

*熊本県防災ハンドブック 備えて安心非常用品

<http://cyber.pref.kumamoto.jp/bousai/handbook/saigai09.html>

*熊本県防災ハンドブック 熊本地震・九州北部豪雨から学んだこと

<http://cyber.pref.kumamoto.jp/bousai/handbook/saigai10.html>

過去のぼうさい通信を見ることができます

本校のHPにアクセスしてみましよう。Vol. 11のテーマも「防災への備え」

<https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>ぼうさい通信 (毎月16日発行)